

37 RQフレックス利用によるシクラメンの簡易栄養診断法

福島県農業試験場いわき支場・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 花き－シクラメン－作物栄養 分類コード 05－13－12000000

2 担当者 矢吹隆夫・渡邊理恵子

3 要 旨

シクラメンの高品質生産を行うためには、生育状態に応じた適切な施肥管理が必要である。そこでRQフレックス利用による簡易栄養診断を行い植物の栄養状態に基づいた施肥管理技術を確立するため、施肥管理の違いと栄養診断値及び生育との関係について検討した。

(1) 植物体中の硝酸態チッソ濃度は、元肥管理では鉢替え後に診断値が高まり、追肥管理では診断値が概ね一定範囲内にあるなど異なった推移を示し、施肥方法の違いを反映することが確認された。

(2) 植物体中の硝酸態チッソ濃度は、液肥による追肥を行う場合、施肥濃度を高くするとそれに伴って診断値も高くなり、施肥量の違いを反映することが確認された。また、高い診断値を示すシクラメンは生育が旺盛となり草姿が徒長した。

(3) 良好な生育を示す現地のシクラメン栽培において、RQフレックスによる簡易栄養診断値は、植物体中の硝酸態チッソ濃度が梅雨期の6～7月は100ppm以下、8月以降は100ppm以上の範囲であった。

以上のことから、シクラメンの栽培におけるRQフレックスを利用した簡易栄養診断は硝酸態チッソ濃度の値が施肥の状態を把握するのに有効である。